

IV. 次期の見通し

連結業績の売上高は、販売電力量の減少はありますが、燃料価格の上昇による燃料費調整制度の影響などにより、前期に比べ170億円程度増加の7,500億円程度となる見通しであります。

一方、利益につきましては、今後の供給力の状況を見極めていく必要があります、燃料費などの費用を合理的に算定することができないため、未定といたします。

今後、業績を見通すことが可能となり次第、速やかにお知らせいたします。

次期の中間・期末配当金につきましては、業績を見通すことができないことから、未定とさせていただきます。

○ 連結業績見通し

31年3月期連結業績予想 (単位：百万円)

	通	期
		対前期増減
売上高	750,000	17,000
(対前期増減率)	(△6.0%程度)	
販売電力量	233億kWh程度	△15億kWh程度

○ 単独業績見通し

31年3月期単独業績予想 (単位：百万円)

	通	期
		対前期増減
売上高	718,000	15,000

※通期の為替レートは110円/\$程度、原油CIF価格は65\$/b1程度として想定しております。